

Sapporo Live Demonstration Course 2019 開催にあたって

この度、第16回目のサッポロライブデモンストレーションコースを開催するに当たり、コースディレクターを代表してご挨拶申し上げます。

昨年はサッポロライブデモンストレーションコースの直後に台風21号が北海道に上陸直撃し、その翌日には北海道胆振東部地震が発生し全道に及ぶ大停電が起こるなど、一部地域には甚大な被害が発生しました。全国各地からお見舞いを頂き改めてお礼申し上げます。

このサッポロライブデモンストレーションコースは長くComplex PCIとEVTにfocusしたLive Courseとして一貫して取り組んできました。この16年間の間に新たなDES、治療device、治療テクニックが紹介され、PCI、EVT治療はめまぐるしい変化と進歩をとげてきましたがSLDCではその最新の治療を常に提示し、ライブ治療の中で議論できるよう取り組んできました。このような取り組みは北海道という地域においても、最新の治療を患者様に提供できること、全国に私どもの治療に対する考え方を発信することができたのではないかと自負しております。

今年も昨年に引き続きSLDCはより新たな方向性を継続すべく、ビデオライブプログラムやBAV Clubとの共催やEPセッションなどを含めた新しい企画を取り入れました。また、増加する海外からのSLDCへの参加希望があることにお応えして、昨年度に引く続き初日のPCIライブでは同時通訳を導入いたします。より多数の海外facultyをお迎えして積極的に海外にも情報発信する所存でございます。

サッポロライブデモンストレーションコースは後世に繋ぐことを目標とし、更なるライブの内容の充実に取り組んでいきたいと考えております。

秋の気配が始まる札幌の地で皆様とお会いできることを心よりお待ちしております。



Sapporo Live Demonstration Course 2019
CHIEF COURSE DIRECTOR
五十嵐 康己 (時計台記念病院)